

リスト〜ピアノと管弦楽のための作品選

ピアノ協奏曲第2番 イ長調 S.125/R.456

Liszt, Franz:Konzert für klavier und orchester nr.2 A-Dur S.125/R.456

死の舞踏

(「怒りの日」によるピアノと管弦楽のためのパラフレーズ) S.126/R.457

Liszt, Franz:Totentanz (paraphrase über "Dies Irae") S.126/R.457

ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124/R.455

Liszt, Franz:Konzert für klavier und orchester nr.1 Es-Dur S.124/R.455

ハンガリー幻想曲 S.123/R.458

Liszt, Franz:Fantasie über ungarische volksmelodien S.123/R.458

Tomoki SAKATA
現代のヴィルトゥオーゾが描き出す“リスト像”

阪田知樹

リスト〜ピアノ協奏曲の夕べ

角田鋼亮(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団

Kosuke Tsunoda

Tokyo Philharmonic Orchestra



2025. 1.23 (木) 19:00開演
18:20開場 21:00終演予定

サントリーホール

Suntory Hall

東京・外池山王駅13番出口徒歩10分 東京・外池山王駅3番出口徒歩5分

全席指定

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,000 C¥5,000(税込)

※料金には消費税が含まれております。※特別料金につきましては裏面をご覧ください。

※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

〈お申込み〉

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

◎サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 suntory.jp/HALL/

◎チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:279-839]

◎イープラス eplus.jp ◎ローソンチケット t-tike.com [Lコード:36263]

主催:ジャパン・アーツ



角田鋼亮(指揮)

©Makoto Kamiya

前売開始

9.28 (土)

10:00~

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット:9月21日(土)

文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業



©Ayuster

会場で体験したい、この特別な時間

阪田知樹が一夜にして、リストのピアノとオーケストラのための4つの作品を演奏する。筋金入りのリスト愛好家の彼にとって、実現したことが嬉しくてたまらない企画に違いない。

10代の頃からリストに傾倒し、2016年にはブダペストのリスト国際ピアノコンクールで優勝した阪田。超絶技巧作品も難なく弾きこなす卓越したテクニックと、輝かしくボリューム豊かな音色は、リストの作品によく合う。実際「たくさん弾いてきたからなのか、手の形のバランスが似ているのか、リストの曲は私にとってとても弾きやすい」と話す。

その特別な演奏会で阪田が演奏するのは、まず彼が「ピアノ入りの交響詩のようで一番好き」だというピアノ協奏曲第2番。そしてリスト国際ピアノコンクール優勝時に演奏した「死の舞踏」、4曲中これまで最も多く演奏してきたピアノ協奏曲第1番と、「リストのハンガリー人としての愛国心が伝わってくる」という「ハンガリー幻想曲」の4曲。さまざまな作品を通じ、一夜にして「リストの真髄に触れる」プログラムだ。

2023年のラフマニノフ・イヤーに全5曲の協奏曲を1日で弾いたコンサートが好評だったことから、次の挑戦として企画されたオール・リストによる協奏曲の夕べ。こうしたヘビーなプログラムも余裕で弾きこなすス

タミナ、安定したテクニックと多彩な音色、そしてなにより、さまざまな資料を深掘りして自分だけの解釈を求める阪田の音楽性で、19世紀のスターピアニストだったリストの音楽を生き生きと届けてくれることだろう。

3月にはあわせてオール・ショパンのリサイタルが企画されているが、こちらはリストとリストの恋人に献呈されたエチュードOp.10、Op.25、そして「24のプレリュード」というプログラム。阪田のリスト愛が、広範なアプローチから表現されることになる。

「演奏家人生の中でも大切な公演になると思う」と阪田自ら語るこの特別な時間を、ぜひ会場で体験しよう。

音楽ライター 高坂はる香

阪田知樹 ピアノ・リサイタル

2025.3.14(金) 19:00 東京オペラシティコンサートホール
オール・ショパン・プログラム
24の前奏曲 Op.28、12の練習曲 Op.10、Op.25

Tomoki SAKATA



阪田知樹 Tomoki Sakata

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。東京芸術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノ

コンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。

2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュタント賞を受賞。



©Makoto Kamiya

角田鋼亮(指揮) Kosuke Tsunoda

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、N響、読響、都響、東響、東京フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、九響等と共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミンファン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千代田市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

<https://www.tpo.or.jp/>

〈特別割引チケットのお知らせ〉ジャパン・アーツびあにて受付。

◎シニア・チケット：公演日当日に65歳以上の方は¥8,100にてお求めいただけます。

◎学生席（各席種とも特別割引価格）残席がある場合に限り、2024年12月20日（金）10:00から受付を開始いたします。社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。（学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。）

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。（ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付）

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください。〉①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

X (Twitter) @japan_arts